

令和元年度(平成31年度)地域発 元気づくり支援金事業総括書

| | |
|---------------|-------------------------------------|
| 事業名 | サル包囲網SNS活用事業 |
| 事業主体 (連絡先) | 木曾町 開田支所 木曾馬の里振興課 (0264-42-3331) |
| 事業区分 | (6) 産業振興、雇用拡大に関する事業 イ農業振興と農山村づくり |
| 事業タイプ | ソフト |
| 総事業費 | 837,864円(うち支援金:628,000円) |

事業内容

SNS(グループLINE)を活用したサル等発生時リアルタイムでのエアガン(ハンドガン連射タイプ)による威嚇・警戒包囲網を構築した。実施にあたりエアガン及びグループLINE設定講習会を実施し実用化した。講習会には木曾地域振興局林務課、農政課、農業改良普及センターで構成する木曾地域野生鳥獣被害対策チームを招聘し、他の有害鳥獣対策と合わせた講習会を実施した。



【SNS・エアガン講習会の様子】

- ・LINE・エアガン講習会 34名参加
- ・包囲網形成 8月～ 42名参画

【目標・ねらい】

- ① サル被害の減少
- ② 地域一丸となった有害鳥獣対策の構築
- ③ 農業従事者の意欲向上

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① SNS活用によりサル出没情報がリアルタイムで共有でき、即時対応することができた。
H30 被害面積 10,289㎡
→令和元年度被害面積 5,854㎡(43%減少)
- ② 農業従事者を中心に様々な職種の住民が参画し情報を共有することにより地域内のサルの出没状況が網羅でき地域の対策システムが構築できた。
- ③ 当該事業の実施により一定の効果があり、即時の情報共有により警戒と準備ができるようになったため農業への安心感と意欲向上が見られた。

※自己評価【A】

【理由】

- ・被害面積減少率が大幅に目標を上回ったこと。
- ・農業従事者から一定の効果が確認できたことや意欲向上に係る意見が寄せられたこと。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

SNS(LINEグループ)による効果が証明されたため引き続き登録者を増やし地域内の出没状況の網羅に努める。また出没頭数が多い地区がありハンドガンタイプのエアガン装弾数では十分な威嚇が行えない部分があったため今後、扱いやすく装弾数が多いエアガンの導入を図る。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある